

2月定例会号

市議会だよりは2月、5月、8月、11月の第2土曜日(定例会号)、1月1日(新年号)に発行します。
今回は6月定例会が開催予定です。



いちかわ

市議会だより

議長に松永 修巳氏



議長選で投票する議員

2月定例会

一般会計予算1,668億円などを可決 委員会提出の「市川市手話言語条例」を可決

市議会は、令和4年2月定例会を2月8日から3月4日まで開催し、第74代議長に松永修巳氏を選出しました。

2月定例会では、初日に村越祐民市長が施政方針演説を、田中庸恵教育長が教育行政運営方針演説を行いました。続いて、令和4年度当初予算案を含む市長提出議案等27件を一括議題とし、これに施政方針、教育行政運営方針を含めて、各党派が代表質問を行いました。

議員からは、「市川市手話言語条例の制定について」(要旨については7面に掲載)、「介護職員の処遇改善に関する手続の簡素化と対象職種の大を定める意見書の提出について」、「ロシアによるウクライナへの軍事侵略に対する決議について」等の決議8件が提出されました。

本会議での採決の結果、市議会は、市長提出議案の17件をいずれも原案通り可決した他、専決処分承認を求める報告2件を承認し、諮問4件を異議ない旨答申しました。また、市長からは、固定資産評価委員の選任について追加議案1件も提出され、議会はこれに同意しました。

議員提出議案については、提出された8件のうち、条例案1件、決議案1件、意見書案2件を可決、決議案3件、意見書案1件を否決しました。

(代表質問は2〜6面、審議結果一覧は8面に掲載)

◆ ◆ ◆
令和4年1月2日に金子正議長が逝去されたことに伴い、今定例会初日の2月8日、本会議において、後任の議長の選挙を行いました。

その結果、有効投票数40票のうち、23票を得た松永修巳氏(創生市川)を第74代議長に選出しました。

松永修巳氏は、平成15年市議会議員に初当選し、現在5期目。これまで環境文教委員長、第63・72代議長、監査委員などの他、各種審議会委員を歴任(原木一十目在住、82歳)。

◆施政方針(要旨)

新型コロナウイルスの感染拡大が落ち着いた後のエンデミックを見据え、将来に渡って、誰ひとり取り残さない、多様性が尊重され、安全に安心して暮らせる持続可能なまちづくりを行う。

(市政運営の基本方針)

【市民の生命と財産を守る】新型コロナウイルス感染症対策、道路や下水道などの社会基盤整備、温室効果ガスの削減などを行っていく。

【人と人のつながりを取り戻す】イベントや自治会等への支援を行う他、これからの公共施設を誰もが気軽に立ち寄り、新たな交流が生まれる場所にする。

【まちの魅力を高める】保育園整備を進め待機児童ゼロを維持する他、スポーツ施設の整備を進め、健康づくりを促進することで、生涯にわたり生き生きと暮らせる社会をつくる。

(将来都市像の実現に向けて「主な施策」)

(1) 真の豊かさを感じるまち 妊娠期の経済的負担を軽減するための施策、保育の質の向上、介護予防センターの整備、こみ出しの負担軽減施策など

(2) 彩り豊かな文化と芸術を育むまち 芸術作品のオンライン配信、文化芸術の拠点となる施設の計画的な改修など

(3) 安全で快適な魅力あるまち 長期停電に対応した避難所整備、水防倉庫の建て替え、地域コミュニティゾーンの整備など

(4) 人と自然が共生するまち 電気自動車購入費用の助成、公共施設の省エネ化、じゅん菜池緑地の井戸の増設など

(5) 市民と行政がともに築くまち 電子市役所の実現に向けた取り組みの推進、自治会への加入促進、市の広報媒体の発信力強化など

◆教育行政運営方針(要旨)

新型コロナウイルス感染症の影響により、学校が果たすべき役割や学び直しの重要性を改めて認識した。誰もが社会の変化に対応し、乗り越え、未来を創造する力を高められるよう、できる限りの感染防止対策を講じ、子どもたちの学びの保障と生涯学習の機会確保に努めてきた。今後も教育委員会は、市長との総合教育会議における協議を通じ、新しい時代の学びに求められる課題を共有しながら、市川教育の推進のため、教育行政の運営に努めていく。

(教育行政運営の基本方針)

第3期市川市教育振興基本計画の点検・評価結果を踏まえた、さらに取り組むべき施策の推進や教育を取り巻く状況の変化へ対応していく。

(「人をつなぐ、未来へつなぐ、市川の教育」の実現に向けて「主な施策」)

(1) 生涯を通じた学び 自動車図書館のステーション増設、幅広い学びの機会の提供、史跡曹員塚に関する基礎データの収集・分析など

(2) 学校における学び 特別支援学級等に補助教員を派遣、外国語活動指導員等の学校への派遣、少人数指導教員の配置、食育と体力づくりなど

(3) 教育環境の整備 須和田の丘支援学校の校舎増築、体育館のトイレ改修、スクール・サポート・スタッフの配置拡充など

◆当初予算

当初予算は、一般会計が対前年度比4.4%増の1,668億円、特別会計は、3会計を合わせて768億3,100万円で同2.7%の増、公営企業会計の下水道事業会計は230億9,500万円で同16.4%の増、総額では2,667億2,600万円、同4.8%の増となっています。